

令和5年度第1回平塚市下水道運営審議会 会議記録

(確認者 西田会長、山田修会長職務代理者)

日 時 令和5年8月23日(水) 14:00～15:00
場 所 平塚市庁舎本館5階519会議室

出席委員 11人
西田会長、山田修会長職務代理者、渡部委員、岡崎委員、五十嵐委員
島田委員、小宮委員、高橋委員、石黒委員、枝川委員、山田博文委員

事務局 11人
土木部 田中部長
下水道経営課 飯田課長、清田課長代理、内海課長代理、澤野主管、石丸主査
瀬谷主任
下水道整備課 小川課長、谷田部課長代理、三宅課長代理、高橋課長代理

傍聴者 0人

議題

(1) 議題

議題1 平塚市下水道事業経営戦略 令和4年度進捗状況報告について

議題2 令和4年度公共下水道使用料の検証について

(2) その他

配布資料

- (1) 令和5年度第1回平塚市下水道運営審議会次第
- (2) 平塚市下水道事業経営戦略 令和4年度進捗状況報告書
- (3) 平塚市下水道事業 公共下水道使用料の検証について(令和4年度)

○会議の公開について事務局から説明

これより会長による議事進行

会長

それでは次第に従いまして、議題に入らせていただきます。議題1の平塚市下水道事業経営戦略、令和4年度進捗状況報告について、事務局から説明をお願いいたします。

- 議題1 「平塚市下水道事業経営戦略 令和4年度進捗状況報告書について」を事務局から説明 -

会長

ただいまの事務局の説明について、何か御質問等はおありでしょうか。

無いようですので私から、些細なところですが追加をお願いします。資料3ページの一番下のところに類似団体の平均値について触れてありますが、それ以降の数値につい

でも同様に計上なさっているかと思いますが、「平塚市を含む数値です。」の後に以下同様です、という文言を追加していただけますでしょうか。

また、5ページの「情報」については、これは以前の審議会などでも質問が出ているところであり、市民の方に対する情報提供については、様々な手段を取られていると思います。広報や、ツイッターとかフェイスブックなどの使い方について、なかなかエンゲージメント率が上がらないとのことですが、今後の改善点や、新たな取り組みについて検討されているようでしたら教えていただければと思います。

事務局

御指摘の通り、SNSを中心としたエンゲージメント率、これは投稿したものに、「いいね」であるとか「リツイート」といったリアクションがどれだけあったかというものを示す率ですが、こちらが思うように上がっていないというのが、現状でございます。

我々の広報の意味合いとしては、必要な情報を皆さんにしっかりとお届けして、下水道事業への御理解をいただくことが重要だと考えております。今後はリアクションにはこだわらずというか、戦略上の目標とは離れていってしまう部分もありますが、しっかりと皆様に情報をお届けできるように独自で広報紙を発行したり、また平塚市のLINEのアカウント、こちらは登録者数が2万人程度いらっしゃいますので、そういったものを活用したりして必要な情報をしっかりと多くの方に届けるというところに主眼を置いて活動していければと考えております。以上になります。

会長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

委員

汚水処理原価が前年度に比べて大分上がっているようですが、この原因については、こういったことが考えられるのでしょうか。

事務局

汚水処理原価については、昨年からの電気料金の高騰により費用が膨らんだことが大きな要因だと考えております。

委員

ということは、今後はこの状態がずっと見込まれるということですか。

事務局

電気料金の高騰の状況は今後その推移を注視して行かなければいけないと認識しておりますが、我々にできる取り組みの中で、これまでも行ってきたコスト削減等の取り組みをこれから一層徹底していかなければならないと認識しております。

会長

その他いかがでしょうか。

委員

3ページの流動比率の流動負債ですが、1年間あるいはそれ以上に分けるのですか。流動負債というこの定義は何ですか。

事務局

流動比率についての御質問ですが、こちらは1年以内に返済しなければならない負債を指しております。

委員

それからもう1点、下水道経営戦略の経営目標というのが、5ページに書いてありますが、これはフローのことについて書いてあるものですね。毎年の、基本となるストックは作らないのですか。

事務局

現在の経営戦略の中では、この活動指標を含めて、大きくは4つの柱があるのですが、施設的なものについては、もう一つ令和3年度までの平塚市下水道中期ビジョンという別の計画がございまして、進捗度合いを把握しておりましたので、この経営戦略の中ではこちらの3指標を現在公表させていただいています。

委員

ということは、3番目（流動比率）も先ほど言われたように、短期のものを抱えてらっしゃるから、結局この計画としてはフローのことを書いてあるということですね。ありがとうございます。

委員

今決算状況の説明をいただきました。例えば2番目の当期純利益というのが、令和4年度の目標が2億円、令和4年度の決算報告が3.2億円ということで、プラス1.2億円という報告がありましたが、そもそも令和4年度の目標の2億円というのを、どのような根拠で設定されたのかを教えてくださいませんか。

事務局

こちらは令和2年度に今回の経営戦略を作成した時点での収入と、それから支出、そのあたりの差を見込んで、推計をしたものでございます。

委員

特に令和3年度の実績を見据えて令和4年度の数値を設定したというわけでないということですね。他も同じような考え方ということですか。わかりました。ありがとうございます。

会長

その他いかがでしょうか。では、議題1の「平塚市下水道事業経営戦略 令和4年度進捗状況報告について」を終わらせていただきます。次に、議題2の「令和4年度公共下水道使用料の検証について」、事務局から説明をお願いいたします。

- 議題2「令和4年度公共下水道使用料の検証について」を事務局から説明 -

委員

ただいまの事務局の説明について、何か御質問等がおありでしょうか。

委員

先ほど、各委員から費用増の要素としての動力費、電気代というような御質問もございました。具体的にお示しいただいた資料、決算と推計ベースの資料ですが、動力費、電気代とか、燃料費とか、そういったものかと思うんですが、具体的にどの項目に入っていると理解すればいいか御説明いただくと、理解が進むのではないかと思います。

事務局

この「議題2 関連資料」で御説明をさせていただきますと、動力費等が含まれるのは、主にポンプ場費で、市で持っているポンプ場の動力を担っている分になります。また、増加の要因となっているもう1つは流域下水道の管理費でして、これは、流域の市町で四之宮水再生センターの運営費を分担していますが、そちらも同様に電気代の高騰に伴いまして、必要経費が上がっています。この分担を各市町でしているところです。その分が、ポンプ場費と流域下水道管理費のところに影響しております。

会長

ありがとうございます。その他いかがでしょうか。無いようでございますので、これで議題2の「令和4年度公共下水道使用料の検証について」を終わらせていただきます。次に、(2)「その他」について事務局から説明をお願いいたします。

事務局

本日が本年度1回目の審議会ということになりますが、今年度の見通しをお話しさせていただきます。今年度は今のところ想定されている議題はございません。また、今年度中の審議会の開催につきましては、議題等の必要性が出た際に、皆様に改めて御案内をさせていただこうかと思っております。お集まりいただく必要のない場合でも、必要な情報があれば随時皆様に郵送等で御通知を申し上げようと思っておりますので、御了承いただければと思います。

会長

ただいまの事務局の説明について、何か御質問等おありでしょうか。

委員

先ほどの議題2の中で、令和5年度から令和7年度までは、使用料改定を行わないということをお話しされていましたが、使用料の改定に向けた審議をする場合は、いつごろを予定されているのでしょうか。

事務局

まず、今後使用料がどれぐらい必要になるかという推計、経営戦略の見直しに合わせて、費用と、人口推計から見た使用料の減少がどのぐらいかをこれから推計しようと思っております。それを反映した経営戦略、令和8年度から動き出していく中で、使用料の改定をどれだけ、どのタイミングで反映していくかを、この経営戦略の改定の中で判断していこうと考えております。

委員

それでは、現状の委員で、早急に何か検討するようなことはないかと理解してよろしい

でしょうか。

事務局

具体的に使用料に直結するような検討を、この2年間で行うことは、今のところ想定しておりません。経営戦略の改定に向けての情報提供については令和6年度中にやらせていただくかもしれませんので、そこで方向性に関してはお話するかもしれません。ただし、これから社会経済情勢が大きく変わってもっと電気代が上がるとか、もっと人件費が上がって、経費回収率が100%を切ってしまうというような状況が見込まれる時には、これはまた協議をした上で、皆さんにお諮りする可能性もございます。今のところ想定はしておりませんが、可能性としてはそういったこともあるということで御案内させていただきます。

会長

その他何かございますでしょうか。

委員

議題1の方なのですが、2ページ目の、現状分析比較対象団体が10団体という報告がありましたが、ただ決算数値だけではなくて、もっと定性的な課題等は他自治体もほぼ同じだと思います。このあたりの自治体、例えば小田原とか茅ヶ崎等の近隣の自治体について、実際にヒアリングに行って、平塚と何が違うのか、同じような課題を抱えているのか、そういったことはヒアリング等されたことはあるのでしょうか。

事務局

具体的なヒアリング等は行っておりませんので、御意見を参考にさせていただいて、今後そういったことも考えていきます。

委員

例えば川崎市ではIoTの導入をして、下水道の設備をセンサー情報で取って効率化してる噂も聞いたことがあります。川崎市であればすぐ近くなので、お話を聞いてみていただくとか、そういうフィードバックをいただけると、我々が近隣の団体と比べて、平塚市は何が良くて何が課題なのかを理解することができ、より深い議論ができるのかなと思いましたので、ぜひヒアリングは進めていただければと思います。

会長

ありがとうございます。その他何かございますでしょうか。

委員

冒頭で、市長から今は平塚市の人口が増えている、一方、これから平塚市も、平塚市だけではなくて全国的に人口も減っていきますし、施設の老朽化などもあって、現時点では下水道の経営状態としては何とかやっているといる状況ではあるが、いずれは数値的に逆転するのではないだろうか、というお話がありました。そういった長期シミュレーション的に、平塚市としてどう考えているかがこの資料だと全くわからない。

経営戦略に令和7年度とありますが、令和7年と言ったらもう目の前のことであって、人口減少とか、設備の老朽化は当然進んでくる。下水道処理の部分は神奈川県内の流域下水道に任せているので、平塚市が維持しているのはポンプ場と、吉沢と土屋の農業集落

排水の設備だと思います。それについて、施設の老朽化、どの機械がどれくらい古くなって、なおかつ人口が減っていくとか、そういう長期ビジョンが見えていないので、私としてはあまり意見が言えない。近くの話しかないように感じます。

事前に下水道事業の取り組み、令和5年度はこんな形ですよという資料をいただいているのですが、十分に把握が出来ないと思います。実際、桜ヶ丘のポンプ場や東部ポンプ場なども施設や機械が古い物もあるので、その辺が見えない。

色々な自治体で、維持管理も含めて民間にお願いしているところが増えていますが、逆に言うと維持管理10年なら10年、20年と任せたとこでやっていってもらおうとそういう部分もかなり明確になるのではないかと思います。

あと先ほど、委員の方からも意見がありましたが、各自治体によって手法が違いますよね。平塚市はポンプ場と農業集落排水の設備ぐらい、川崎市とか大和市では市で下水処理場も含めて全部賄ってるのでなかなか比較しづらいと思いますが、平塚市と似たようなところをヒアリングとか、他の市とコミュニケーションをとっていただいて、平塚市だけじゃなくて、ある程度周りを巻き込みながら全体的に良くしていくような形にしてほしいと思います。下水道も上水道もかなり、経営が緊迫してくるのではないのかなと個人的には感じます。

事務局

今御指摘いただいた部分ですが、本日の議題としては、令和4年度の経営戦略の進捗状況の報告としましたので短期的なお話を中心でしたが、投資財政計画というところで、今後10年間とか50年間のシミュレーションをして、資料として記載しています。ですので、長期を見たうえで、経営戦略としては10年間で、今回はそのうちの令和4年度について報告したもので、全体像がわかりづらい部分もあったのは御指摘いただいた通りだと思います。ただ全体として長期的なことを踏まえて対応しているということと、計画の体系としてストックマネジメントの計画もありますので、経営戦略の他に柱となる計画を作ってそれぞれ対応しております。今回そこまでお示しできず、わかりづらい点があったのはお詫びします。

委員

改めて、全体像がありますよというのを御説明していただく場を設けていただくことはできますか。全体の計画とか流れが分からないので、令和4年度の話だけ聞いてもいいのか悪いのか判断しづらい。どういう想定でこの目標を設定したのか。これは全体像がある中の、KGIがある中のKPIだと思うので、ゴールはどこを目指していこうとしているのかという理解がしづらいので、それを説明していただく場を作っていただきたいと思います。

事務局

先ほど事務局から次回の審議会については、まだ具体的にいつということをお示しできませんとお伝えしましたが、例えば、次回皆様にお集まりいただいたときに全体像、それから長期的な視点を御説明させていただく場を設ける、または、お集まりいただくのではなくて、そういった長期的なものがわかる資料をこちらで御用意して、それをお示しし、もし何か分かりづらいということがあれば、御指摘いただいて、それに対してお答えさせていただきたく方法もあるかと思います。

委員

いただいた資料を読んでもわからないので、説明していただく場を作ってもらった方がいいと思っています。

事務局

全体の場で説明させていただく、もしくは、個別に対応させていただければと思います。

委員

説明の場を設けていただけるなら市役所まで来ることも可能です。

事務局

お願いします。

事務局

先ほど施設の老朽化のお話が出てきましたが、施設の長寿命化対策として、平塚市の中で10地区、これを古いところから順に調査点検を行い、優先順位をつけて、その中で長寿命化を図る管路を直すなどしながら、現在進めているところです。もう一つ、先ほど官民連携、PPP-PFI関連の話があったと思います。そちらについては、例えば三浦市がコンセッションという施設の更新、管理、あとは運営、そういったものも含めた形でやっているものもあります。小田原市でも、昨年度から民間への包括委託で維持管理の部分をやっているようなところもありますので、そういった市の内容を参考にしながら、あと国等の状況等も注視しながら、研究していきたいと思います。

会長

ありがとうございます。

事務局

施設の状況についてもお話がありましたが、平塚市の管渠の老朽化率といいまして、法定耐用年数を過ぎた管が全体の何割ぐらいあるかということを取りまとめまして、全国平均と、それから先ほどの類似団体の平均と比べて、平塚市がどうかというフィードバックがあります。その中で申し上げますと、令和3年度の時点のものですが、平塚市の管渠老朽化率が5.67と出ておりまして、類似団体の平均ですと6.43、全国ですと6.54と、ほぼ同じようなリスクで推移をしております。こちらでも毎年少しずつリスクが上昇傾向で推移をしております。こういった情報につきましては、平塚市のホームページ、経営戦略に関係するホームページに掲載しております。

会長

その他いかがでしょうか。それではほかに御質問がないようでございますので、次第(2)「その他」を終わらせていただきます。最後に各委員の皆様方から何かございませんでしょうか。

委員

今日はありがとうございました。先ほど言われたホームページはこれでよろしいですか。初めてだったので印刷させていただいたんですけど、大変わかりやすく書いてあったので、まだ勉強不足ではありますが、しっかりと皆様と一緒に良い審議をしていきたい

いと思います。

委員

PRになってしまいますが、先ほどの平塚市下水道経営戦略の5ページの一番下の方に書かれている下水道ふれあいまつりを今年度、平塚の四之宮水再生センターで10月21日に開催予定となっておりますので、ぜひお越しいただけたらと思います。

会長

ありがとうございます。委員の皆様には、会議の円滑な議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

事務局

西田会長には、議長をお勤めいただきまして、ありがとうございました。以上をもちまして、令和5年度第1回平塚市下水道運営審議会を閉会いたします。皆様、本日はお忙しいところ、御出席いただきまして誠にありがとうございました。